

JPDA 1月定例理事会議事録

日 時：平成29年1月25日（水）午後1時30分～午後5時

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中20名（加藤芳夫、田川雅一、青木(入江)あずさ、伊藤 透、

井上 聡、梅原 真、江藤正典、加藤(桑)和美、加藤憲司、

小原 司、竹内清高、中越 出、永島 学、永田麻美、中森恭平、

信藤洋二、藤田 隆、森 孝幹、八木勇達、山崎 茂)

欠席届（牛島志津子、畝野裕司、小川裕子、小川 亮）

監事2名中0名 欠席（池田 毅、時田秀久）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者20名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、田川雅一副理事長の2氏であることを確認し、議事に入る。（決裁事項の議案号数はゴシック。）

議事に入る前に、11月定例理事会で次期事務局長に推薦され承認された渡邊隆氏が、自己紹介を含め挨拶された。

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会申込み法人1社、個人3人があり、定款6条(会員資格の取得)並に会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人1社、個人3人の入会を承認した。

(1)法人会員（1社）

<東日本>

株式会社フィード（推薦者＝加藤芳夫）

(3)個人会員（3人）

<東日本>

田中 誠(たなか まこと)（推薦者＝時田秀久）

中澤亜衣(なかざわ あい)（推薦者＝天野和俊）

<西日本>

有田真一(ありた しんいち)（推薦者＝時田秀久）

第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員3社、個人会員7人の退会を承認した。

(1) 法人会員 (3社)

<東日本>

株式会社沖データ (自社都合により) [29年1月末退会希望]

<西日本>

京セラドキュメントソリューションズ株式会社

(自社のパッケージが輸送包装中心のため) [29年1月末退会希望]

株式会社ファースト (本業に専念のため) [28年11月末退会希望]

(2) 個人会員 (7人)

<東日本>

片岡啓吾 (業務分野の変更のため) [29年1月末退会希望]

黒川且枝 (パッケージデザインの仕事が無くなったため) [28年12月末退会希望]

島田賢太郎 (パッケージデザインの仕事が無くなったため) [29年1月末退会希望]

陣内昭子 (資生堂を退職のため) [29年1月末退会希望]

<西日本>

釣谷 隆 (病気のため) [28年12月末退会希望]

平井宥子 (デザインに関わることが無くなるため) [28年12月末退会希望]

松井昌子 (一身上の都合により) [28年11月末退会希望]

第3号議案 協会名義使用承認の件

山崎事務局長から説明があり、新規で依頼があった「ラベルフォーラムジャパン2017」の後援名義使用依頼は承認された。また、(2)の2件に関しては、これまでに協会名義使用承認実績があることから、既に回答済みであることが案内された。

(1) 後援名義使用の依頼

・「ラベルフォーラムジャパン2017」イベント後援の依頼

主催：ラベルフォーラム実行委員会 (ラベル新聞社)

(2) 過去に実績があり承認済案件

・審査委員就任の依頼 1件

・協賛名義の使用依頼 1件

第4号議案 正副理事長報告

加藤理事長、田川副理事長から下記の報告があった。また、加藤理事長から大先輩の鹿目先生と大森先生から下記の指摘があったことが案内された。鹿目先生からは、もっともっ

とクリエイティビティのある企画展に挑戦すべきである点が指摘され、大森先生からは、震災支援等に関しては一過性の企画展で終わらせるのではなく、会員企業と連携した支援策を継続して検討し、今回の熊本地震等に対しても即座に支援ができるような体制を作っておくべきである点が指摘された。また、田川副理事長から、西日本新年会に出席しての印象として、東日本の会合よりも先輩たちの出席が多く、意見・指摘が多い点が印象に残ったとのことであった。

- 加藤理事長報告
- ・ 1/10 第56回日本クラフト展授賞式に山崎事務局長が代理出席。
(公社)日本クラフトデザイン協会
 - ・ 1/11 2017新年交歓会に出席。(一社)日本印刷産業連合会。
 - ・ 1/13 2017賀詞交歓会記念講演会に山崎事務局長が代理出席。
(公社)日本インダストリアルデザイナー協会。
 - ・ 1/13 2017賀詞交歓会空間デザイン大賞受賞記念セミナーに山崎事務局長が代理出席。(一社)日本空間デザイン協会。
 - ・ 1/16 ASPAC AWARDS 2016 パッケージデザインフォーラム並びに贈賞式に出席。
 - ・ 1/17 日本パッケージデザイン大賞の贈賞式並びにレセプションに出席。
- 田川副理事長報告
- ・ 1/11 2017包装界合同新年会に出席。(公社)日本包装技術協会。
 - ・ 1/17 日本パッケージデザイン大賞の贈賞式並びにレセプションに出席。

第5号議案 理事長からの「2017年ご挨拶」について

加藤理事長から、資料に沿って下記内容が案内された。

今年度はリノベーションをした「継続と革新」の方針を続けていきたいと思っており、活動テーマを“日本×パッケージ×デザインを哲学し創造する”として、意識を新たに、より創造性を高める活動をめざして行きたい。そして伝統と革新の両方向をもった、日本のパッケージデザインの魅力を広く世界に発信し、パッケージデザインの和えるチカラで新しい価値をつくりだして社会貢献につなげていきたいと思っている。

具体的な活動として、「日本パッケージデザイン大賞2017」入選・入賞作品を掲載した「年鑑日本のパッケージデザイン2017」の5月発刊、10月に「APD in 台湾」の開催、11月にJPDA 四万十デザイン会議の開催、10カ国に拡大したASPAC事業(アジア学生パッケージデザインコンペ)の開催、知財知識を得られる講座の開催等、今年も様々な企画・セミナーを用意しているので是非参加いただきたい。

第6号議案 平成29年度の事業計画(案)及び正味財産増減予算(案)について

山崎事務局長から資料に沿って、下記の案内があった。

今回は暫定予算等もあり正味財産増減予算(案)は添付できていないが、事業計画(案)を個別に見る限りでは、経費増で4万円弱、収入減で40万円程度であることから、大きな予算修正がなければ、大きく予算案がマイナスになることはないと考えられるので、最終予算案提出後に正味財産増減予算(案)を作成し理事の皆さんに送付し、確認して貰いたいと考えている。

第7号議案 委員会報告

<決済事項>

○国際交流(海外視察)

- ・森理事から、海外デザイン事情視察についての収支計算報告があり、公益会計で、収入合計1,080,000円、協会補助0円、支出合計1,078,831円、収支差額+1,169円を承認した。

開催日時：平成28年11月5日～13日

視察地：アメリカ西海岸 サンフランシスコ & ポートランド

参加者：27名

視察地は、世界を動かすシリコンバレーやスタートアップ企業が集まるクリエイティブな街・サンフランシスコと全米で一番住みたい街に選ばれているポートランド。今回の視察は、パッケージデザインを取り巻く様々なジャンルのクリエイティブから新たな視点を見いだすために、“デザイン思考”でお馴染みのIDEO本部、プロダクト発想のブランディングで急成長しているFUSEPROJECT、世界中の“美味しい”を産み出す出版社TEN SPEED PRESSなどを訪問した。

次に第四のコーヒーやクラフトビールを産み出したポートランドを視察し、ポートランドという個性的な街をデザイナー視点で視察し、5チームに分かれて発表するというワークショップも行った。どの地にも先駆者フミ・ササダ氏のように日本人が地に足を付けて活躍していることに、大いに刺激を受けた視察となった。

○国際交流(APD代表者会議)

- ・森理事から、「APD in 台湾」代表者会議についての収支計算報告があり、公益会計で、収入合計0円、協会補助250,000円、支出合計308,936円、収支差額-58,936円を承認した。

開催日時：平成28年12月5日

打合せ場所：台北・松山文創園區(クリエイティブセンター)

参加者：田川雅一副理事長、森孝幹理事

「APD in 台湾 2017」開催に向け TPDA をホストに APD 代表者会議が開催された。

「APD in 台湾 2017」のテーマは「感動 -TOUCH-」。パッケージデザインは、商品の機能や価値を高めるものであり、感情を伝え新しいトレンドとして消費者に届けるものである、それは感動である、とのこと。TPDA 新理事長 OWEN 氏は APD を更に進化させるために、APD の先人を敬い、そして先へ進もう、との精神から APD 貢献賞の新設を提案し可決され、また APD 作品展に関しても過去の入賞作品を展示することで APD の継続性を見える化したいこの提案があり可決された。このことにより、前回ソウルの入賞作品を各団体が台湾へ持参することになる。「APD in 台湾 2017」の日程は10月28日(土)・29日(日)だが、JPDA としては前後に1・2日追加して台湾や香港のデザイン会社訪問視察を検討している。

また、台湾の次のホスト国である JPDA としては、通常では2019年の日本開催を、2020年の JPDA60周年記念との同時開催にしたい意向を明確にしたいと考えている。

○国際交流(ASPac事業)

・森理事から、下記の4点につき資料に沿って報告があった。

- (1)シンガポール視察：今年度から ASPac に参加予定のシンガポールのラサール大学でセミナーを8月に開催した。フミ・ササダ氏によるセミナーには100名を超える学生が参加し、パッケージデザインへの注目度の高さは JPDA・日本にとっても有意義なものと歓迎している。
- (2)インドネシア事業：応募数が倍増したインドネシアのビーナス芸術大学で ASPac セミナーを11月中旬に開催。インドネシアでの ASPac 活動を積極的にサポートして下さる ADGI (インドネシア グラフィックデザイン協会 現会長 Zinnia さん) の広報や、インドネシアのジョコ大統領が「我々はパッケージデザインに注力していく」とのお話がタイムリーにあったこともあり、メディア取材も複数入るほどの注目度であった。
- (3)国内決勝審査：11月26日に DIC の協力によって DIC 本社大会議室で国内決勝審査を行なった。加藤理事長をはじめ JPDA 審査員と特別審査員左合ひとみ氏による審査を行なった。予選を通過した優秀な作品から佳作47点、入選10点、そしてアジア決勝に進む入賞4点を選出した。
- (4)ASPac ウィーク：1月14日～20日に ASPac2016 の集大成である ASPac ウィークを開催した。
 - ・1月15日(日)：アジア最終決勝審査
 - ・1月16日(月)：10カ国フォーラム、贈賞式
 - ・1月17日(火)：展覧会オープニング(東京展 1/17～23、大阪展 2/7～22)

※ASPac 事業に関して、理事長をはじめ各理事から下記の意見が出された。

- ・ASPac から出されている企画書やパンフレット等において、JPDA が企画・運営をしていることが JPDA 協会の内外及び海外においても明確に見えるような表記にして欲しい。「Produced by JPDA」の様な欧文表記や、「日本パッケージデザイン協会 企画・

運営」など、森理事に次年度用に検討して欲しいと言った意見が出された。

- ・また、贈賞式等のイベントに多くのJPDA協会員が参加できるように、スケジュールを早めに連絡出来るような体制をとって欲しい等のコミュニケーションの充実強化を求める声が寄せられた。

<報告事項>

○国内交流

梅原理事から、1月10日・11日に西日本のメンバーと今年11月に開催予定している「JPDA 四万十デザイン会議」の打合せを開催したことが案内された。開催にあたっては100名規模での参加者募集が前提であるので、是非協力して欲しい旨の要請があった。

但し、10月下旬に「APD in 台湾 2017」が計画されていることから、参加者100名達成は微妙であることが話題となった。

○コンペティション

小原理事から、今回は大賞コンペ贈賞式の翌日に、大賞を含めた入賞作品をインターネット委員会の協力を得て、サイト掲載できたことが案内された。

贈賞式に関し加藤理事長から、贈賞式で使用していたスライド式のバックパネル(味の素から借用)をJPDAで購入することが提案され、情報を集めることとなった。

○出版

- ・山崎理事から口頭で、現在、5月発刊予定の年鑑につき、大賞受賞のお二人に取材中であること及び、2020年に向けての企画を検討中であることが案内された。

○教育

- ・永田理事から資料に沿って下記の案内があった。

案内チラシについては、「JPDA第43回パッケージデザインセミナー&ワークショップ」であることを明確にすることが案内された。また、今回は3月2日と8日の2回開催のセミナーとし、メルマガ配信で開催案内物の郵送は無しとしたが、講師のスマイルズ、JAGDAの協力も得ながら、インターネット掲載で参加者募集を予定。この件に関し、2回の開催で参加費10,000円は安すぎるのではないかと意見が出され、再検討することになった。

○広報

- ・永島理事から、1月初旬にPD25号を送付したばかりなので、現在は少し休息中であることが案内された。

○インターネット

- ・中越理事から資料に沿って下記の案内があった。

JPDAサイトの更新状況については、サイトを確認ください。

今後の更新予定は、2月以降の開催事業等を含めて計画中であり、3月2日・8日開催予定の教育セミナー(ワークショップ)、国際交流の海外視察・アスパック事業、デザイン保護、情報の森、会員紹介、委員会通信、会員専用コンテンツを掲載予定。

また、会員メール配信について「基本的に一日一通」が再度案内された。

○調査研究

- ・加藤憲司理事から口頭で下記の案内があった。

法人企業調査結果に関しては、報告書を作成して会員に配布予定である。法人会員拡大策に関しては、会員・非会員を問わずアプローチしていきたいと考えている。

○デザイン保護

- ・山崎事務局長から資料に沿って下記の案内があった。

1.) HP委員会レポートページの更新

12月22日【V o 1 . 86】 「 “体験型セミナー” 商標・意匠を自分で調べてみよう! 」

2.) 平成28年度第4回JPDAデザイン保護委員会 実施 / 12月13日(木)18:30~20:00

3.) D-8 (日本デザイン団体協議会) デザイン保護研究会参加

第5回デザイン保護研究会 12月8日(木)18:30~20:00

(詳細に関しては、JPDA ウェブサイトで確認ください。)

○東北プロジェクト

- ・江藤理事から口頭で下記の案内があった。

東北プロジェクトに関しては、28年度で発展的解消を考えている。震災復興支援と東北地区の活性化を主に学生を中心に若い人達と活動してきたが、一応の成果があったと考えている。今後は、国内交流委員会等で地域の活性化に向けた活動に繋げていきたい。

この件に関し加藤理事長から、仙台を中心に築いてきた人的コミュニケーションは今後も大事にして欲しい旨の要請があった。

○アーカイブ

- ・入江理事から資料に沿って活動報告があった。加えて、展示場を探索中であるが、公営で補助が見込めるような場所の選定が必要と考えている。また、創立60周年とアーカイブをからめた作品展示を検討している。

○東日本

- ・伊藤理事から、当日(25日)理事会後に開催される「東日本新年デザイン交換会」の案内があった。中越理事から当企画の案内チラシに関し、法人会員が参加しやすいようなタイトル(伝統文化の研究会など)を検討して欲しい旨の要望があった。

○中日本(愛知・岐阜)

- ・八木理事からセミナー開催に向け、現在、講師を選任中であることが案内された。

○西日本

- ・中森理事から資料に沿って下記の案内があった。

「日本を包む」展の東京・大阪展の入場者は合計17,000名で、沢山の方々に見てもらうことが出来た。その際アンケートをとり約400名の回答があったが、アンケートの結果、優秀賞に輝いた制作者に賞状を渡したいと考えている。ただ、1月10日開催の「日本を包む討論会」に関しては、本当に会員のためになる内容であったのか？という指摘が先輩会員からあり、今後の課題にしていきたいと考えている。

今回の展覧会は2016年・2018年・2020年のシリーズ開催で、3回目の展覧会時に図録を作成予定であるが、1回が2万円だと3回で6万円になるが参加費としては高すぎはしないかとの意見が出された。

第8号議案 事務局報告

- ・平成29年度事業予算及び平成28年度事業収支決算の作成・承認に関するスケジュールについて
- ・「1月定例理事会」及び「東日本新年デザイン交換会2017」のスケジュールについて
- ・協会名義使用依頼について

第9号議案 次回理事会開催について

日時：平成29年3月8日（水）午後1時30分～5時00分

場所：文京シビックセンター（区民会議室）5階 会議室 A

東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園」駅前